

令和3年度からの箕面市立文化芸能劇場の運営について

(※以下、現在開催中の箕面市議会令和3年第1回定例会において、ご審議いただいている内容です。)

令和3年8月にオープンする箕面市立文化芸能劇場は、箕面船場阪大前駅の開業が令和5年度に見直されたことにより、大規模興行の誘致が困難となったため、駅の開業までの間は、市民の方の利用を中心に運営します。

そこで、市民の方のより活発な利用を促進するため、グリーンホールと同等の料金で劇場を利用できるよう、3年間の時限で利用料金の助成制度(※1)を創設します。これにより、これまでグリーンホールを利用されていた方をはじめ、多くの市民の方に劇場を利用していただく「きっかけづくり」を行うとともに、船場地区の賑わいの創出を図ります。

また、大規模興行を行わないこの間については、当初予定していた「独立採算方式」による運営は難しいことから、劇場運営に必要な経費の一部をその実績に応じて、市が指定管理料として負担する「指定管理料支払い方式」(※2)で運営します。

(※1)利用料金の助成制度…裏面「令和3年度 予算概要」の1.

(※2)指定管理料支払い方式…裏面「令和3年度 予算概要」の2.

<令和3年度 予算概要>

1. 市民文化芸能振興助成事業について

(1) 予算概要 2,892万4千円(市民文化芸能振興交付金)

(2) 事業概要

・劇場の利用について、箕面船場阪大前駅の開業までの間は、市民の利用が中心となります。このため、グリーンホールと同等の利用料金で文化芸能劇場のホールを利用できるよう、利用料金の助成制度を「市民文化芸能振興助成事業」として3年間の時限で創設します。

・これにより、これまでグリーンホールを利用されていた方をはじめ、多くの市民の方に文化芸能劇場を利用していただく「きっかけづくり」、市民活動の広がりにつながるよう支援します。

・この助成制度の活用にあたっては、「全市民が参加できる活動であること」を交付の要件とします。(コロナ禍において、多くの市民の方の心の癒やしとなる機会とするため。)

・この「きっかけづくり」に加えて、大阪大学外国語学部、箕面市国際交流協会、箕面市メイプル文化財団、NPOによる市民活動支援などによる船場地区の賑わいを創出し、外国人市民の方々も含めた市民の憩いの場を作ります。

2. 文化芸能劇場管理運営事業について

(1) 予算概要 1億1,359万1千円(文化芸能劇場管理運営委託)

(2) 事業概要

・箕面市立文化芸能劇場は、大ホールにおける大規模興行の誘致により収益を確保するという、国内でも類を見ない「独立採算方式」で運営します。

・しかしながら、北大阪急行線延伸事業の開業目標見直しに伴い、最寄り駅である箕面船場阪大前駅の開業も、令和5年度に見直されたことから、運営を行う指定管理者から鉄道の延伸がない状態での興行誘致は困難であるとの申し出がありました。

・このため、箕面船場阪大前駅の開業までの間(令和3年度から令和5年度まで)は、多くの自治体と同様に、劇場運営に必要な経費の一部をその実績に応じて、市が指定管理料として負担する「指定管理料支払い方式」による運営を行います。